

平成 22 年度
学生生活実態調査報告書
(学部・大学院)

2011 年 6 月



はじめに

平成 22 年度学生生活実態調査報告書が完成し、学内に公表の運びとなりました。本調査は広島大学において全学生を対象に隔年で実施しているアンケート調査であり、広大生の学生生活の実態を示しているものです。そして調査の結果をもとに、広島大学における学生支援のあり方を点検し、改善していくことを本来の目的としています。今回のアンケートに回答をよせてくれた学生の皆様、調査の実施、データのまとめにご協力くださった教職員の皆様に感謝を申し上げます。

今回の調査は前回平成 20 年度の調査と方法を変更した点があります。①まず、従来別々に実施してきた学部学生対象の調査と大学院学生対象の調査とを一体化し、質問項目も基本的に共通のものにしました。両者の一致点、相違点が明らかになることでニーズに合致した学生支援につながることを期待しています。②またアンケート回答方法も、これまでの紙媒体調査用紙方式から Web 上での入力にしました。回答の利便性、調査の効率化を図ったのですが、結果的に回答率が前回の学部学生 41.6%から今回 19.0%に低下したことは大きな反省点です。調査の意義を学生の皆さんに理解してもらおういっそうの努力が必要でした。これは次回の調査に活かしたいと思います。③内容的には、質問項目を精選しました。様々な必要性から様々なアンケート調査が実施されており、対象となる回答者の負担が重いという指摘をいただいたためです。ただこの学生生活実態調査には同じ質問に対する回答の経年変化を調べる目的も含まれており、社会の変化を反映した今日的な学生生活実態を把握するための質問項目とバランスをとったつもりです。

前回調査との学生生活の内容的変化については、報告書本編をご参照ください。学生生活の全体的満足度の高さ等、大きな変動がみられない項目がある一方で、経済的状況等、収入・支出ともに厳しさが増している実態も読み取れます。

41 の質問項目とともに本調査のもう一つの重要な意義は、「自由記述」欄に寄せられた多様で率直な、また提言を含んだ意見にあります。今回も多く意見が集まり、その中から「大学への提言」という観点からベストメッセージ賞 2 件、グッドメッセージ賞 5 件を選定し、表彰しました。例えばベストメッセージに選ばれたのは、①開かれた大学をめざして学生と社会とのつながりを強化する、そのために「大人」「社会人」と関わる機会、場をつくるという提案、②大学内にももっともっと全学生が共有したい情報や活動があり、情報交流サイトや交流会を企画したい、同時にそのような情報を学外に発信したいという提案でした。そのほかにも全学的な学生支援への要望、学部・研究科での修学上、生活上の支援必要性等、多くの意見が届きました。これらの意見は、課題領域、全学・部局等のカテゴリに整理して、関係部署に提供します。すぐに対応可能な要望、改善のために多少の時間をかけて検討しなければならないもの、個々別々ではありますがせつかくの意見を有効に活かしたいと考えています。

最後に、この調査報告書が広島大学学生の生活をいつとき立ち止まって振り返り、より充実したこれからの学生生活とそのための支援に資することを願って、冒頭のご挨拶といたします。

平成 23 年 6 月

広島大学理事・副学長（教育担当）
坂 越 正 樹

目 次

I 調査の概要

1 調査期間、調査対象、調査方法	1
2 回答者の内訳	1

II 設問と回答分布

【学 部】

1 大学生活において大切にしているもの	5
2 学内外のクラブ・サークル活動への参加	5
3 大学の行事への参加	6
4 ボランティアや地域活動への参加	6
5 アルバイト	7
6 大学構内での滞在時間・場所について	8
7 大学構内でくつろいで過ごせる場所	10
8 1ヶ月の生計費（収入・支出）	10
8-1 収入	10
8-2 支出	12
9 1週間の学習時間	14
10 所有もしくは占有している物	15
11 犯罪やトラブルなどの被害経験	16
12 交通事故の経験	16
13 喫煙及び飲酒の習慣	17
14 薬物（大麻等・覚醒剤）について	18
15 授業以外の学生生活の充実度	18
16 授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス	19
17 学生生活の悩み	19
18 チューターへの相談と相談内容	20
19 現在の健康状態	20
20 身体面・心理面の悩みの解消	21
21 友人との関係	21
22 教員との関係	22
23 学生交流スペースの利用	22
24 所属学部の学生支援室の対応	23
25 学生プラザの学生支援部門の対応	24
26 本学の教育・学習、学生生活などの全体的な満足度	25
27 居住形態	25
28 通学方法	26

【大学院】

1	大学生活において大切にしているもの	27
2	学内外のクラブ・サークル活動への参加	27
3	大学の行事への参加	28
4	ボランティアや地域活動への参加	28
5	アルバイトについて	29
6	大学構内の滞在時間・場所について	30
7	大学構内でくつろいで過ごせる場所	32
8	1ヶ月の生計費（収入・支出）	32
8-1	収入	32
8-2	支出	34
9	1週間平均の学習時間	36
10	所有もしくは占有している物	37
11	犯罪やトラブルなどの被害経験	38
12	交通事故の経験	38
13	喫煙及び飲酒の習慣	39
14	薬物（大麻等・覚醒剤）について	40
15	授業以外の学生生活の充実度	40
16	授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス	41
17	学生生活の悩み	41
18	チューターへの相談と相談内容	42
19	現在の健康状態	42
20	身体面・心理面の悩みの解消	43
21	友人との関係	43
22	教員との関係	44
23	学生交流スペースの利用	44
24	所属学部・研究科の学生支援室の対応	45
25	学生プラザの学生支援部門の対応	46
26	本学での教育・学習、学生生活などの全体的な満足度	47
27	居住形態	47
28	通学方法	48

Ⅲ	資料 学生生活実態調査アンケート項目（もみじ画面）	49
---	---------------------------	----